

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-136	高等学校	芸術	書道Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
06 教図	書Ⅱ 006-901	書Ⅱ		

1. 編修の基本方針

知る喜びと腑に落ちる体験を重ねて欲しい

本教科書は、「教育基本法」に示された教育の目標と高等学校学習指導要領に示されている内容に基づき、表現と鑑賞が相互に関連しながら、基礎的な学習が系統的・段階的に進められるよう、次の点に配慮して編修しました。

1. 基礎・基本的な書に関する知識・技能の定着と、幅広い知識の習得を図る。

姿勢・執筆法に始まり、用具・用材の特徴とその扱い方、漢字の書体の特徴や変遷、仮名の種類や成立、言葉と書の表現との関係など、書道Ⅰの学習では、書の学習の基本となる内容を網羅的に学習してきました。書道Ⅱでは、書道Ⅰで学習したことを土台に、そこから段階的・系統的に各領域の内容を詳しく広く学ぶことで、幅広い知識と技法を身に付け、生涯にわたって書を愛好する心情を育てることを目指しました。

2. 表現することを積極的に楽しむ姿勢を養う。

永い年月を経て現代まで残る「書の古典や名筆」には、普遍的、恒久的な美しさに加え、斬新さや奇抜さ、独創性にあふれたものが数多くあります。直観的に作品の表面に現れた個性を感じ取るだけでなく、表現者という立場でそれらの古典や名筆を見つめ、表現のそのものを、時代、風土などの背景の面からも分析することで、論理的な思考の能力を高めることができます。また、そのような経験を通して、芸術を創造的に味わう力を養うことができます。

3. 芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養う。

芸術は、表現・鑑賞いずれの場合においても、思考し、表現する活動が主体となるため、常に意識を高める工夫をする必要があります。特に鑑賞においては、「考えて 見る」という行為によって、古典や名筆の奥深くにまで深く入りこむことで、表現者目線の鑑賞が身に付き、自身の表現に生かすことが可能となります。

4. 身のまわりの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成する。

書は言葉を書く芸術です。言葉や文字そのものに関心を持ち、漢字や仮名の成立や変遷過程を理解することで、伝達手段としての表現感覚を養うだけでなく、目的、場面などに応じた表現の仕方にまで考えを及ぼすことができます。書の持つ魅力や意義、効果などについて考え、情報社会を生き抜く力が身に付くことを目指しました。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>目次</p> <p>プロローグ</p> <p>筆を持った、その後に</p> <p>コラム 古典に学び、未来を思う</p>	<p>○幅広い知識と教養を身につけるために、書道の学習の基盤となる芸術科書道への導入となる教材を示しました。[第1号]</p> <p>○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために、限りある資源を素材とした書道の用具・用材を大切に扱うことができるように配慮しました。[第4号]</p>	<p>p.002-003</p> <p>p.004-005</p> <p>p.006</p>
<p>表現編 私を表現へといざなう書</p> <p>鑑賞編 見る・感じる・知る書</p> <p>書へのいざない</p> <p>臨書は私の表現の原石との出会い</p> <p>書くとは、今の私を見える化すること</p> <p>眺めるから見つめるへ</p> <p>漢字の書</p> <p>仮名の書</p>	<p>○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、漢字誕生の国・中国を象徴するような写真や図版を選定しました。[第5号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、各時代を代表する古典を教材として選定しました。[第1号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけるため、書体の特徴や歴史、能書と呼ばれる人物について深く学習することができる内容を設定しました。[第1号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、写経や造像記など、祈りの心について学習することができる単元を設定しました。[第5号]</p> <p>○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの書を観察し、その意義について考えられるようにしました。[第3号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するために、仮名と日本の言葉の関わりを示しました。[第5号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うために、姿勢・執筆法などの知識や技能を単元の冒頭に設定しました。[第1号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身に付けるため、平安時代の文学と仮名の関係について、深く学習することができるようにしました。[第1号]</p> <p>○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p>	<p>p.007-048</p> <p>p.081-142</p> <p>p.009-028</p> <p>p.052-091</p> <p>p.030-037</p> <p>p.092-101</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
漢字仮名交じりの書	<p>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、漢字と仮名による日本語の表記の歴史を示しました。[第5号]</p> <p>○自主及び自律の精神を養うために、生徒自らが漢字や仮名の学習を振り返りながら漢字仮名交じりの書の表現に取り組めるような構成としました。[第2号]</p> <p>○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、創意工夫する単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p>	p.042-043 p.104-109
資料編 書の文化 中国・日本書道史関係地・資料参考地図	<p>○幅広い知識と教養を身につけるために、書道の学習の基盤となる中学書写で学習した知識や技能を示しました。[第1号]</p> <p>○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う意識が持てるよう、筆墨硯紙の生産地を紹介しました。[第4号]</p> <p>○臨書について学習することで、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うことができるように配慮しました。[第1号]</p> <p>○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、作品を制作する単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○伝統と文化を尊重するために、書と深い関わりのある印の歴史と落款について学習できるように設定した。[第5号]</p> <p>○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画するために、自宅の表札を刻字で制作する教材を示しました。[第3号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、書の古典と伝統的な形式について学べるように配慮しました。[第1号]</p> <p>○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、はがきや手紙の書式、年賀状の書式、金封の表書きなどの教材とマナーを示しました。[第5号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、書の歴史や地理資料、用語について確認できるように配慮しました。[第5号]</p>	p.143-165

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に示す、「豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養う」ために、以下の点について編修上の工夫をしました。

○表現と鑑賞両方の学習を充実させる「more」マークの使用

表現編の学習で、鑑賞編の関連ページの参照がスムーズに行えるよう、「more」マークを付しました。教科書全体を活用しながら学習を進めることで、視野が広がり、書に関する知識や技能の向上につながります。

○書の作品を際立たせるゴシック体フォントの活用

肉筆や拓本で示す書の古典の印象を際立たせるため、タイトルや本文の書体をゴシック体で統一し、すっきりとした紙面を実現しました。

○明るく見やすい紙面レイアウト

判型は「A4」を採用し、古典の図版をゆったりと原寸大で掲載したり、適度な余白を持たせることで、すっきりと明るく見やすい紙面になるように工夫しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107 - 136	高等学校	芸術	書道Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
06 教図	書Ⅱ 006-901	書Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

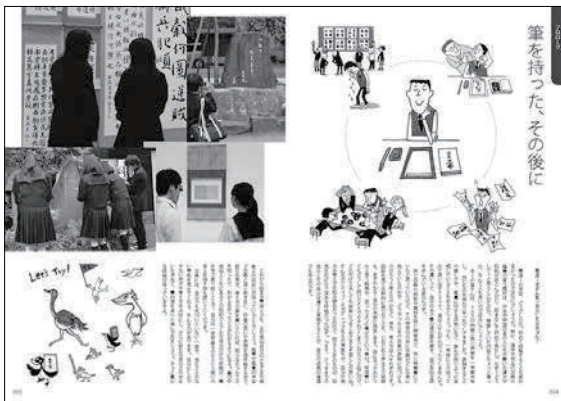
●基本方針

- ①基礎・基本的な書の知識・技能の習得と、確実な定着を図ります。
- ②表現と鑑賞の両面から、書の伝統と文化について理解を深められる構成です。
- ③芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養い、コミュニケーション能力を育成します。
- ④身のまわりの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成します。

●構成と配列

書の表現の基礎・基本に軸をおいた「表現編」と、鑑賞に軸をおいた「鑑賞編」の二編による構成です。「書へのいざない、仮名の書、漢字漢字仮名交じりの書」すべての領域において、表現と鑑賞双方向の学習が可能ないように構成しました。

プロローグ



書道の学習を、生徒が自分ごととしてとらえられるよう、プロローグの内容を工夫しました。常に学習の主体は自分であり自己であるのだということに気づくことから学習を始めます。

漢字の書



書とはどのような芸術なのかを理解するため、表現と鑑賞について根源的に考えるページを設けました。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
	A表現	B鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
プロローグ 筆を持った, その後に コラム 古典に学び、未来を思う	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (3)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ		p.004-005 p.006 p.007	
表現編 「私」を表現へと導く 書 書へのいざない 臨書は私の表現の原石との出会い 漢字の書 漢字の変遷に見るおもな書体	(2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ		p.007 p.008 p.008-013	
篆書 石鼓文 泰山刻石	(2)ア(ア) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ		p.014-017	
隷書 乙瑛碑 曹全碑 居延漢簡	(2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ		p.018-022	
草書 書譜 十七帖 風信帖 (忽恵帖)	(2)ア(ア) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ		p.022-025	
仮名の書 高野切古今和歌集 (第一種) さまざまな仮名の表現のかたち	(3)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ		p.030-031 p.032--033	
考えて見る篆書編 これは絵か?文字か? 考えて見る隷書編 どの隷書も等しく隷書なのか 考えて見る 草書・行書編 この字、読める? 考えて見る楷書編 誰にでもわかる楷書ってすごい	(2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ		p.052-053 p.058-059 p.066-067 p.074-075	
書へのいざない 書くとは、今の私に見える化すること 眺めるから見つめるへ 見る→知る→わかる	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (3)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ)					
芸術へのいざない 芸術の生まれる場所		(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)				

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
	A表現	B鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
仮名の書 考えて見る 仮名の書編 演者は仮名で舞台は料紙 古今和歌集の古筆 関戸本古今和歌集 高野切古今和歌集（第一種） 自然を尊重する心を反映した散らし書き 曲直が表す個性的な線の美	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ		p.120-131	
漢字仮名交じりの書 考えて見る 漢字仮名交じりの書編 時代を生きる書 ささまざまな表現に学ぶ漢字と仮名の調和 響き合う行と余白 自分自身の表現を求めて	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ		p.132-139	
漢字の書の作品制作	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ		p.026-029	
仮名の書の作品制作	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ		p.034-037	
漢字仮名交じりの書の作品制作	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ		p.040-043	
エピローグ 私と書の明日		(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)			p.110	
篆刻と刻字 自分の書に押す印を制作する 書を凹凸で表現する	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(4)	p.046 p.047	
中国・日本書道史 関係地・資料参考地図		(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(エ)			p.134-135	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107 - 136	高等学校	芸術	書道Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
06 教図	書Ⅱ 006-901	書Ⅱ		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
112 - 119	深めて知る 近代書道の幕開け 昭和モダニズムの牽引者 現代の書のパイオニア 書に親しんだ文化人	2	内容の取扱い「(3) 内容の「A表現」の(1)については漢字は楷書及び行書、仮名は平仮名及び片仮名」に示されていない書体が混じる作品である。	8
120 - 125	深めて知る 漢字と仮名が生んだ書の歴史	1		8
合計				16

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容